

『 いずみの里 』 工賃向上計画

(平成20年3月10日策定)

I 事業所の概要			
事業所名	いずみの里		
事業所種別	就労継続支援B型を含む多機能型事業所	定員	20名
管理者	瀧澤 強志	担当者	瀧澤 強志
開設年月	平成2年4月1日	新体系移行(予定)年月日	平成19年4月1日
所在地等	(〒084-0922) 住所 北海道釧路市北斗76番5号 電話 (0154) 56-2633 FAX (0154) 56-2634 e-mail keiai.izumi.946@gray.plala.or.jp ホームページ http://www.geocities.jp/izumi0840922/		
設置主体	社会福祉法人釧路恵愛会協会		
運営主体	社会福祉法人釧路恵愛会協会		
開設目的(理念) (定款等から記載可)	障害者の社会復帰・社会参加等の促進を図り、その独立心を損なうことなく、社会人として自立した生活ができるように援助する。		
運営方針 (定款等から記載可)	社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。		
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (20年3月1日現在)	身障	1級 名、2級 名、3級 名、4級 名、5級 名、6級 名	
	知的	A 名、B 名、B- 名	
	精神	1級 1名、2級 15名、3級 4名	
	その他	1名(診断書等による者)	
利用者の男女の別	男性14名(平均年齢 45.3歳) / 女性7名(平均年齢 39.7歳)		
利用者への福祉的支援(観点)に関する特徴、配慮(送迎、余暇等)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の便が悪いため、送迎サービスを実施している。 利用者に対して個別支援計画を作成し、複数ある作業種目のうち可能なかぎり本人が希望する作業に参加いただいている。 定期的にミーティングを開催し施設側と利用者側が意見交換ができる場を設け、その中で施設の運営状況や作業の収支なども細かく周知し、利用者の意見を可能な限り尊重するよう配慮している。 利用者の自助グループ活動をサポートし、行事、レクリエーションの開催など福利厚生面にも力をいれている。 		
工賃向上対象以外の実施事業	就労移行支援		
工賃の決定・支払方法	時給150円 月末締め翌月10日支払い		

II 授産作業の内容

	作業名	内容（簡潔に説明）
①	委託事業	水産会社から受託のシール貼りなど
②	食品加工	クッキー、昆布加工品の製造
③	手芸事業	和紙やビーズによるアクセサリづくり
④	農耕	野菜の生産・販売
⑤	印刷事業	印刷物の封筒づめ、外部委託の印刷製本など

注1 作業に従事する利用者が多い順にすべて記載してください。行が不足する場合は、適宜、挿入してください。

III 目標工賃の設定

(1) 目標工賃 ※「目標工賃設定シート」(エクセルファイル) から転記すること。

	現状	目標		対19年度比 (%)
		19年度	20年度	
A 目標平均工賃 (円) E÷F	6,912	8,000	13,000	188%
B 年間総収入 (千円)	3,195	3,300	5,200	162%
C 年間総原価(工賃除く) (千円)	1,459	1,550	2,400	164%
D 工賃支払前収支 (千円) B-C	1,736	1,750	2,800	161%
E 年間工賃総額 (千円)	1,493	1,728	2,808	188%
F 年間延べ利用者数 (人)	216	216	216	100%

「C 年間総原価（工賃除く）」は、別添エクセルシートの「原材料費・仕入原価」とその他の経費を合計したのになります。

IV 目標達成に向けた取組

(1) 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

収益の出ている食品加工をさらに強化し、他の新規事業（候補：バイオディーゼル事業）に力をいれる一方、収益割合の少ない委託事業を縮小することで全体の収益力が増し、工賃の向上が可能となる。

② 取組の基本方針と具体的方策

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存商品の改良・新商品開発 ・ 販路の拡大 ・ 新規事業の推進 ・ 下請け事業の効率化
具体的な取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ クッキー部門におけるデザイン商品、パッケージの改良（箱入れ、個包装など）などにより販売拡大と原価率の引き下げを図る。 ・ おつまみ昆布の新商品開発とパッケージの改良 ・ おみやげ商品としての販路拡大 ・ バイオディーゼル事業の推進 ・ 下請け事業の作業工程見直し など

③ ②の基本方針に関する現状と課題

経営的な視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ クッキーの生産量拡大を図りたいが限界がある ・ 販売先の拡大について、人的関係によるこれ以上のルート開拓が困難（現状は手数料なしで陳列） ・ 下請け事業が古くからの関係先であり断るのが難しい ・ 新規事業（バイオディーゼル）の導入と技術的課題、原材料確保の課題など
福祉的な視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の生産性、効率性の向上を目指したいが、一方で精神疾患をもつ利用者の状況、障害特性にも配慮する必要がある。

④ 現段階で考えられる改善の方策と、行政、福祉団体、経済団体、企業、住民等に望むこと

- ・ 地元企業等（ホテル、おみやげもの販売店など）に対して販売商品の陳列など
- ・ 新商品開発や管理、販路開拓における専門家の助言

作業別の取組方針

※ 複数の作業科目がある事業所は、従事する利用者の多い作業から順に3つまで記載すること。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲むこと。

※ 利用者の状態や福祉的支援についても考慮して記載すること。

作業名 ①	食品加工（クッキー、こんぶ）
取組方針	<p style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </p>
理由	<p>（理由）クッキーは味の評判もよく安定的な売上を維持しており、血液センターや美容室での売上も増加してきている。こんぶは利益率が高く、地域の特産品でもあり引き続き強化したい。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>〔強み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 価格が低く、味にも定評がある。 ・ 施設の立地条件により水道代がかからない。 <p>〔弱み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 型抜き作業などに時間がかかり大量生産が難しい。 ・ <p>〔機会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地（釧路湿原）が近く、販売拡大の可能性はある。 ・ <p>〔脅威〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小麦粉等原材料の値上がり。 ・ 他の福祉施設との競合。
目標	<p>売上を平成 19 年度対比 1.5 倍（1,800 千円（うちクッキー約 1,000 千円）→ 2,700 千円）に増加する。</p>
具体的な目標達成策	<p>① 収入面について （商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パッケージの工夫、価格の見直し ・ 砂糖とごまをまぶしたおつまみこんぶの新商品開発 ・ 販売先の拡大（お土産としての販売） <p>② 支出面について （仕入れ、業務改善、コスト低減など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売価格の見直しによる材料原価率の低減 ・ <p>③ その他 （以下、他の作業についても共通内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造作業について他の効率的な製造方法の研究 ・

作業名 ②	委託作業
取組方針	<p style="text-align: center;">強化 現状維持 縮小 撤退</p>
理由	<p>(理由) 平成 19 年度 (途中) 年間収入 24 万円に対し、支出が 50 万円と赤字の事業となっている。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境 ([強み]、[弱み])、外部環境 ([機会]、[脅威]) を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定して受注できる。 ・ <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料が安い。 ・ 先方の事情により左右される。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・
目標	縮小方針
具体的な目標達成策	<p>① 収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料の引き上げは難しい。他の受託施設も同程度の単価である。 ・ <p>② 支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の効率化の実施 (すでに限界) ・ <p>③ その他 (以下、他の作業についても共通内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・

作業名 ③	手芸事業
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>(理由) 毎期安定した売上有る。また特定の利用者が好んで行っている作業である。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>〔強み〕 ・ 材料費以外の費用（水道光熱費など）がほとんどかからない。 ・</p> <p>〔弱み〕 ・ 販売機会はバザーのみである。 ・</p> <p>〔機会〕 ・ ・</p> <p>〔脅威〕 ・ ・</p>
目標	現状維持方針
具体的な目標達成策	<p>④ 収入面について （商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など） ・ ・</p> <p>⑤ 支出面について （仕入れ、業務改善、コスト低減など） ・ ・</p> <p>⑥ その他 （以下、他の作業についても共通内容） ・ ・</p>

◎新規事業、あるいは設備投資による大幅な規模拡大を計画している場合は、次項も記載してください。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲むこと。

作業名	バイオディーゼル事業
取組方針	新規 大幅な規模拡大
商品・サービスの内容	食品廃油を集めて燃料を製造する。製造した燃料を施設の車両に軽油の代わりとして利用するほか、販売も行う。
顧客・市場規模・販路	<p>(対象顧客)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設での燃料利用を基本とする。車両燃料などの経費節減効果が見込める。 希望する関係施設などに販売する。 <p>(市場規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> . . <p>(販路) ※製造業、農業等の場合に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の施設で燃料を使用する。 .
競争と差別化	<p>(ライバルの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内では釧路エコロジーと長谷川興産(株)がセベック社の機器を導入稼働させている。廃食油奪い合いの可能性はあるが、関係先の協力で確保を図る。 . <p>(差別化の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造人件費が低く抑えられる。 エコロジーに取り組む施設としてPRできる。
設備投資と資金	設備の導入は月額5万円程度のリースでまかなえる。機器導入にかかる大きな資金負担は発生しない。
収支と工賃	毎月2,000リットル程度の生産が可能。夏場の7ヶ月稼働し、1リットル100円として経済効果は140万円。リース料(年60万円)、諸経費を差し引いて、3人の利用者に対して2万円程度の工賃を捻出できる見込み。機器を稼働させない冬場は別の事業に従事してもらう。

V 取組の年次計画

※取り組む事項を簡潔に記載してください。

19年度 (実施済を含む)

- ・クッキーのアイテム増加
- ・昆布の安定的な材料供給の確保
- ・販売先（陳列協力先）の拡大

20年度

- ・食品加工分野の新商品開発
- ・食品加工分野のパッケージ、価格の見直し
- ・食品加工分野の販路拡大
- ・バイオディーゼル機器設置場所の増築
- ・バイオディーゼル機器の導入

21年度

- ・バイオディーゼル事業の商品改良と販路拡大
- ・食品加工分野の販路拡大

22年度

- ・
- ・